

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平3-19313

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>  
A 44 B 19/16

識別記号 庁内整理番号  
7618-3B

⑭ 公開 平成3年(1991)2月26日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 レール状ファスナー

⑯ 実 願 平1-80218

⑰ 出 願 平1(1989)7月7日

⑱ 考 案 者 浜 谷 勉 富山県滑川市加島町2348-1

⑲ 出 願 人 吉田工業株式会社 東京都千代田区神田和泉町1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 宮田 友信 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

1 一対の対面する帯体 1, 2 の互いに対向する面にレール状の雄咬合子 3 と雌咬合子 4 を設けているレール状ファスナーにおいて、前記両帯体 1, 2 のうち少なくとも一方の帯体 1 または 2 の一側縁部 5 または 6 が他方の帯体 1 または 2 から離れる方向に折り曲げて、両帯体 1, 2 間に摘み用空隙 7 を形成していることを特徴とするレール状ファスナー。

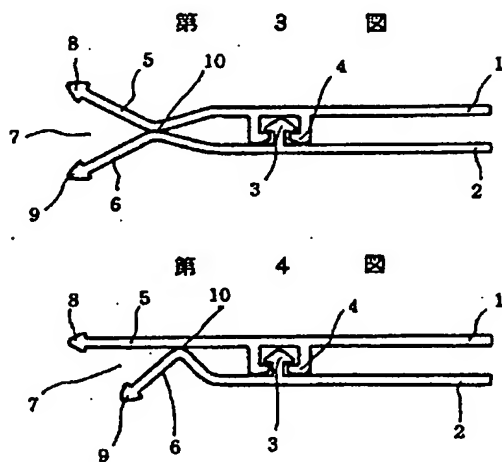
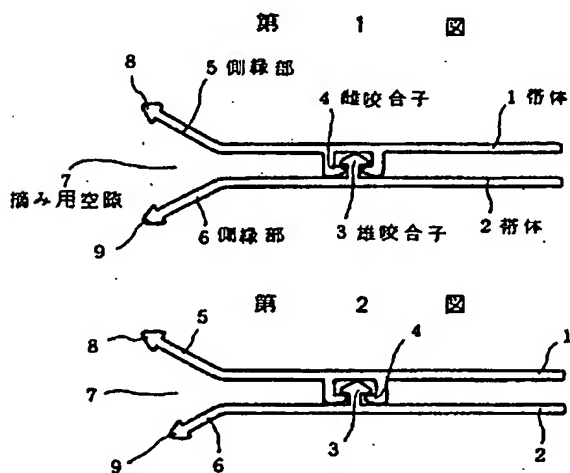
2 前記両帯体 1, 2 のうち少なくとも一方の帯体 1 または 2 の一側縁部 5 または 6 における基部に、他方の帯体 1 または 2 側へよる接合乃至接近部 10 を設け、該接合乃至接近部 10 より

先端部が離れる方向に反転していることを特徴とする請求項 1 記載のレール状ファスナー。

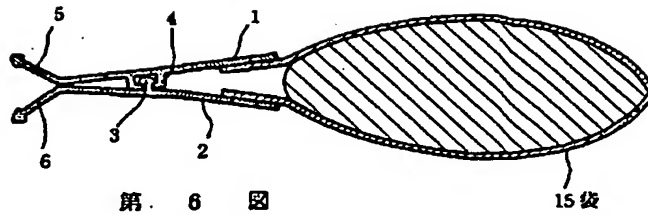
図面の簡単な説明

第 1 図、第 2 図、第 3 図及び第 4 図はそれぞれこの考案によるレール状ファスナーの各例を示す側面図、第 5 図はこの考案によるレール状ファスナーを袋に使用した例を示す断面図、第 6 図は同じく斜視図、第 7 図は従来例のレール状ファスナーを示す側面図、第 8 図は従来例のレール状ファスナーを袋に使用した例を示す断面図である。

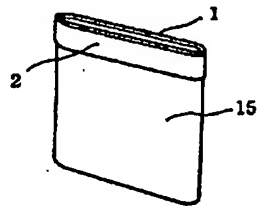
1, 2…帯体、3…雄咬合子、4…雌咬合子、5, 6…側縁部、7…摘み用空隙、10…接合乃至接近部。



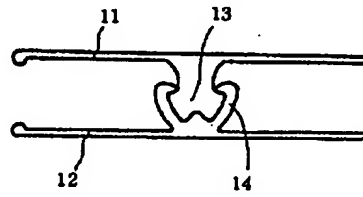
第 5 図



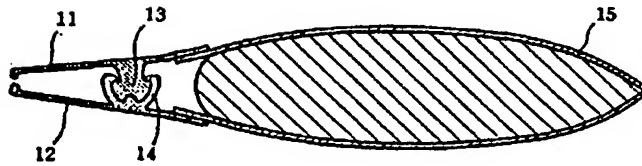
第 6 図



第 7 図



第 8 図



# 公開実用平成 3-19313

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-19313

⑬ Int. Cl. \*

A 44 B 19/16

識別記号

庁内整理番号

7618-3B

⑭ 公開 平成3年(1991)2月26日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 頁)

⑮ 考案の名称 レール状ファスナー

⑯ 実 願 平1-80218

⑰ 出 願 平1(1989)7月7日

⑱ 考 案 者 浜 谷 勉 富山県滑川市加島町2348-1

⑲ 出 願 人 吉田工業株式会社 東京都千代田区神田和泉町1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 宮田 友信 外1名

## 明 細 書

### 1 考案の名称

レール状ファスナー

### 2 実用新案登録請求の範囲

1. 一対の対面する帯体（1，2）の互いに対向する面にレール状の雄咬合子（3）と雌咬合子（4）を設けているレール状ファスナーにおいて、前記両帯体（1，2）のうち少なくとも一方の帯体（1または2）の一側縁部（5または6）が他方の帯体（1または2）から離れる方向に折り曲げて、両帯体（1，2）間に摘み用空隙（7）を形成していることを特徴とするレール状ファスナー

2. 前記両帯体（1，2）のうち少なくとも一方の帯体（1または2）の一側縁部（5または6）における基部に、他方の帯体（1または2）側へよる接合乃至接近部（10）を設け、該接合乃至接近部（10）より先端部が離れる方向に反転し

ていることを特徴とする請求項1記載のレール状ファスナー

### 3 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

この考案は、袋口などに取り付けられるレール状ファスナーに関する。

#### 〔従来技術〕

従来例として、例えば実公昭44—23772号公報に開示したものが知られている。当該公報のレール状ファスナーは、第7図に拡大して示しているように、平行する一対の帯体11、12の相対向面に互いに咬合する凹掛合体14と凸掛合体13とを設けたものであり、これを開く場合には両帯体の対向する両側を摘み、互いに開く方向に引き離すことにより開くことが出来るものである。

#### 〔考案が解決しようとする課題〕

第7図に示す従来レール状ファスナーは拡大

したものであるから、両帯体間の間隔が広く表されるが実際には通常1 mm以下の間隔のものであり、両帯体間に指を一挙に差し込む事が出来ず、指の腹で一方の帯体の側縁を押し開いて、左右から指を差し込んで摘む煩わしさが有り、殊に第8図図示のように袋15に一杯に収納してある場合には、その反発力によって両帯体11, 12が恰もV字状に両側縁が近接し、しかも両帯体が緊張するため、指の腹では開き難くなり、爪などを差し入れて開かねばならない煩わしさがあった。

この考案は以上の欠点を解決するために工夫されたもので、閉鎖された状態から開放する際に、両帯体の側縁を即座に摘むことが出来、開放する操作が容易になるレール状ファスナーを提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

この考案による解決手段は、一对の対面する両帯体のうち、少なくとも一方の帯体の一側縁部が

他方の帯体から離れる方向に折り曲げて、両帯体間に摘み用空隙を形成したものである。

更に、前記両帯体のうち少なくとも一方の帯体の一側縁部における基部に、他方の帯体側へよる近接乃至接合部を設け、該近接乃至接合部より先端部が離れる方向に反転するように形成することが好ましい。

〔作 用〕

上記構成であるから、両帯体の両側縁間が広く指を即座に差し込むことが出来るので、一々指の腹で押し広げたりあるいは爪を差し込む等の煩わしさがなくなり、簡単に開放できるものである。

〔実 施 例〕

この考案を具体的に説明すると、第1図は第1実施例であって、合成樹脂材で所定の巾（図中左右方向の長さ）を持つテープ状よりなる一対の帯体1，2が平行に相対向し、両帯体1，2の対向面のうち、一方に断面矢印状をなす雄咬合子3を、

他方に雌咬合子4が突設してあって、雌雄両咬合子4，3が弾力的に係合解離して、両帯体1，2を一体的に連結すると共に分離するものである。上記両帯体1，2の各対向する一側縁部5，6を互いに離れる方向に折り曲げ、その折り曲げた側縁部5，6間に摘み用空隙7を形成し、各側縁部5，6の先端に摘み易くするための断面三角形状の膨大部8，9を設けたものである。

第2図は第2実施例であって、前記第1実施例とはほぼ同様であるが、その違いは、一方の側縁部6の折り曲げた部分よりの突出長さを、他方のものよりも短く形成し、両側縁部5，6を段違いにすることにより摘み用空隙7を更に広く形成したものである。

第3図は第3実施例であって、前記各例と同様に両側縁部5，6を互いに離れる方向に折り曲げであるが、その折り曲げる以前に両帯体1，2を互いに接合乃至接近するように折り曲げ、その接



合乃至接近部10より前述の如くに離れる方向に折り曲げて、摘み用空隙7を形成したものである。

第4図は第4実施例であって、一方の帯体1は折り曲げることなく直線状に設け、他方の帯体2の側縁部6を一旦直線状の帯体1側に向かって折り曲げた接合乃至接近部10を介して、離れる方向に折り曲げたもので、その他の構造は前記各例と同様である。

この考案は以上の構造であって、第6図に図示しているように、袋15の口縁にレール状ファスナーを溶着などの手段で付着するもので、その際両帯体1, 2の両端部を互いに一体に溶着しておく。そこで封鎖する時には、両帯体1, 2の雌雄両咬合子4, 3を設けた部分を全長に亘って押し付け合いすれば、雌雄両咬合子4, 3が互いに弾力的に係合することは従来のもと同様であるが、第5図図示のように袋15内に一杯に収納した際には、袋口部が拡がり、両帯体1, 2の折り曲げ

た両側縁部 5, 6 の基部が互いに接合するが、両側縁部 5, 6 が折り曲げられているので、その間の摘み用空隙 7 は十分確保される。従って袋 15 を解放する時には、摘み用空隙 7 内に両手の親指を差し込み人指し指との間で両側縁部 5, 6 を摘んで双方を離れる方向に引くことによって開放されるものである。

〔考案の効果〕

この考案によるレール状ファスナーは、少なくとも一方の帯体における側縁部を他方より離れる方へ折り曲げて、両側縁部間に摘み用空隙を設けたものであるから、レール状ファスナーを閉鎖した状態にあっても摘み用空隙が確実に保持されているので、摘み用空隙によって一挙に両側縁部を摘むことが出来、開放する操作が甚だ容易になるものである。また両側縁部を離れるように折り曲げる以前に、互いに接近乃至接合したものであれば、両帯体の袋口と連結する部分が押し拡げられ

でも、接合乃至接近部が強く圧接するのみで、摘み用空隙が全く狭められることがなく、従ってこの場合も開放する操作が甚だ容易になるものである。

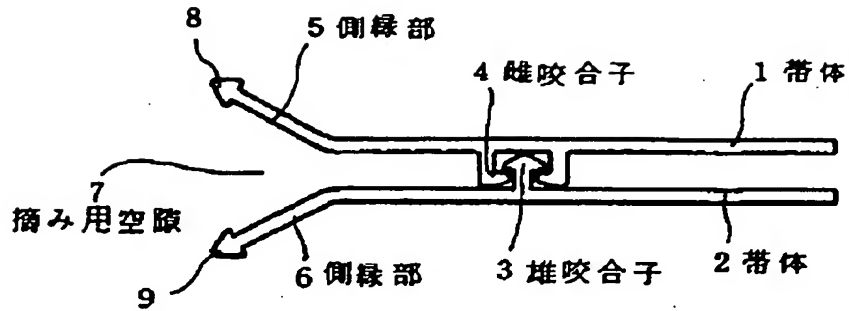
#### 4 図面の簡単な説明

第1図、第2図、第3図及び第4図はそれぞれこの考案によるレール状ファスナーの各例を示す側面図、第5図はこの考案によるレール状ファスナーを袋に使用した例を示す断面図、第6図は同じく斜視図、第7図は従来例のレール状ファスナーを示す側面図、第8図は従来例のレール状ファスナーを袋に使用した例を示す断面図である。

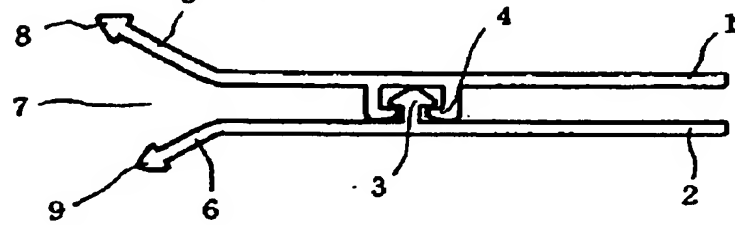
1, 2…帯体 3…雄咬合子 4…雌咬合子

5, 6…側縁部 7…摘み用空隙 10…接合乃至接近部

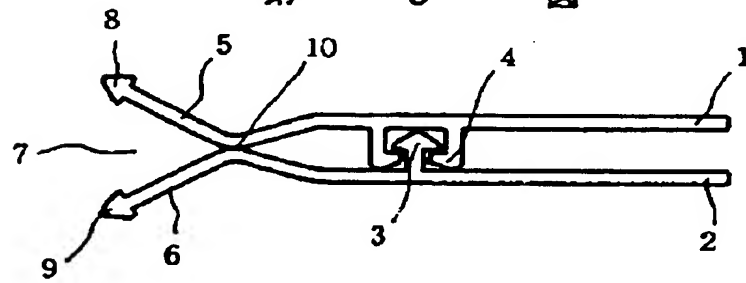
第 1 図



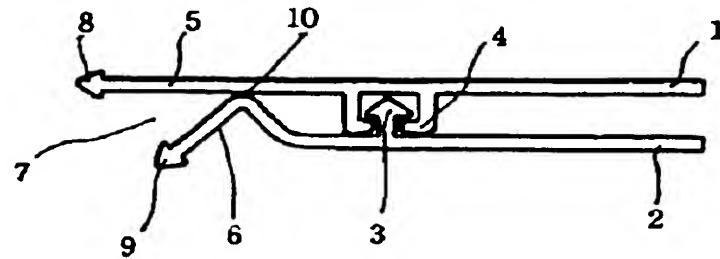
第 2 図



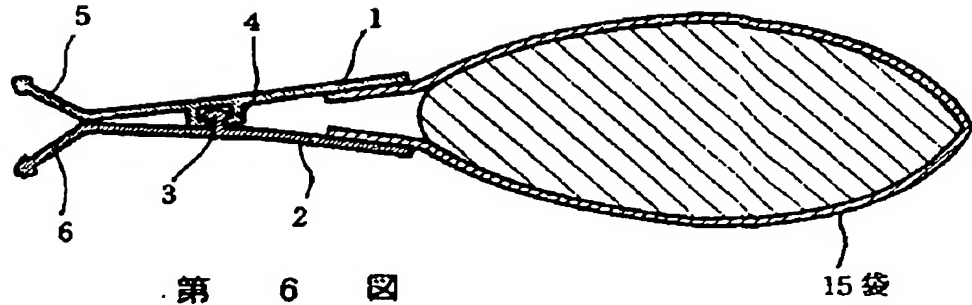
第 3 図



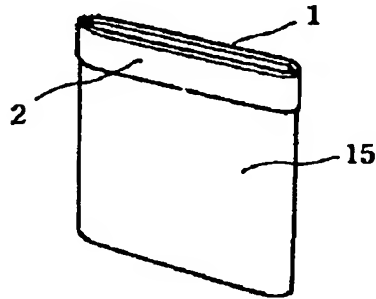
第 4 図



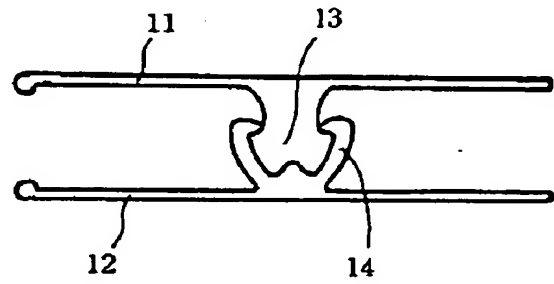
第 5 圖



第 6 圖



第 7 圖



第 8 圖

